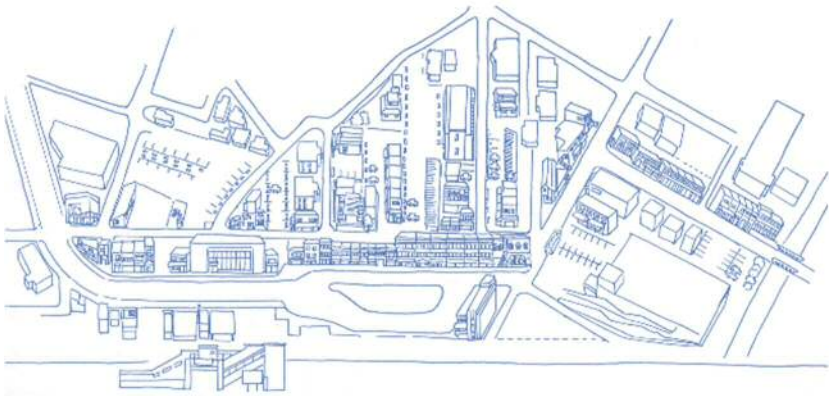
武里エリアビジョンデザイン会議

活動報告（第２回）



令和３年９月30日、10月６日に第２回「武里エリアビジョンデザイン会議」を開催しました。

本会議は、武里駅西口周辺におけるリノベーションまちづくり※の実施に向けて、今後のまちのイメージを共有することを目的としています。

※リノベーションまちづくりとは

遊休不動産や公共空間などの空間資源、地域資源、産業および人材といった既存ストックを活用し、地域のコミュニティの衰退など都市や地域の課題解決を図りながら、まちに新しい価値や魅力を生み出すまちづくりの手法です。

第２回目は、令和３年９月30日にオンライン、10月６日に対面でグループワークを行い、メンバーとともに、まちのイメージについての意見交換を行いました。

はじめに、第１回目のおさらいとして、本会議の趣旨を再確認した後に、市が実施した駅周辺の通行量調査結果について共有しました。

次に「まち歩き」の代わりとして、市職員が撮影した駅周辺の様子を見ながら、駅周辺に眠る遊休不動産などの「宝探し」を行いました。

動画の視聴中は、軒先のスペースが広い空き店舗や、広い駐車場などを確認しながら「妄想力」を働かせ、今後の活用の可能性についてイメージを膨らませました。

その後、グループワークにおいて、メンバーがグループに分かれて、①動画を見て思ったこと・気づいたことや、②今後のまちのイメージについて、武里駅西口周辺を示した手描き地図を見ながら、それぞれ自由に意見を出し合いました。

①動画を見て思ったこと・気づいたことについては、「空き店舗が想定以上に多かった」というご意見や、「こんな裏通りがあるとは知らなかった」など、メンバーの皆さんにとっても新たな発見がありました。②今後のまちの「イメージについては、「レトロなまち」や「定期的に集まれるスペースが欲しい」など、たくさんのアイデアが出ました。最後にはグループで出た意見やアイデアを全員で共有し、会議は終了となりました。

【グループワークでのご意見（一部抜粋）】

★動画を見て思ったこと・気づいたこと

・武里駅西口ロータリーの裏通りがあることを初めて知った
・昼には閉まっているお店が多い
・商店街の統一感があると良くなるのではないか

★今後のまちのイメージについて

・「○○のまち武里」など売りになるテーマがあると良いのでは
・レトロな雰囲気を活かしたまちづくり
・子ども、若者、高齢者など多世代が集まる場所
・マルシェやキッチンカーイベントの開催
・人が歩いて楽しめるウォーカブルなまち
・地元の人がまちをつくる、参加する仕組み

次回は、今回いただいたご意見やアイデアをさらに深堀りし、より具体的なまちのイメージについて固めていきます。

問い合わせ：春日部市役所 都市計画課コンパクトシティ推進担当
048-736-1111（内線 3518）